１学期終業式号　令和７年７月１８日　発行

四中だより

朝霞市立朝霞第四中学校
埼玉県朝霞市栄町 5-1-60
℡(048)466-4711
Fax(048)467-4744

目指す学校像
生き生きと学び、夢と希望を胸に、感動を実感できる学校

「無知ではいけません」
～「知る」こと　と「知っている」こと～

校長　太田（おおた）　禎治（さだはる）

本日１学期の終業式を執り行いました。４月８日の始業式・入学式から 71 日。生徒のみなさんはどれだけ成長できたでしょうか。身長・体重など体の成長だけでなく、「学びの成長」はどうだったでしょうか。各クラスでは学級担任から生徒一人一人に通知表を手渡しました。今学期の「学び」の評価として１学期を振り返るとともに、夏休み・２学期以降の参考にして欲しいと思います。

終業式の校長からの話では、「無知」ということについて触れました。世の中ではある物事（「常識」と考えられることが多い）を知らないときに、その人のことを「無知な人」と言ったりします。広辞苑では「**無知＝知識がないこと**」と記載されています。では「知る」とはどういうことでしょうか。同じく広辞苑では「知る」の第一義として「**物事の内容を理解する。わきまえる。悟る**」と示されています。生徒にとって、知っていること（＝知識）が少ないことは当たり前のこと。（最高学年の３年生でも、生まれてからわずか 15 年しか世の中を経験していませんから）。知っていることよりも大切にして欲しいのは、**知ろうとすること、物事の内容を理解しようとすること。**その意味で今回のテーマは「無知ではいけません」ということです。

授業がおこなわれていない夏休みだからこそ・・・

今日から長い夏休み。学校はお休みになり、当たり前ですが、毎日の授業は一か月以上ありません。そんな夏休みだからこそ、いろんなことを「知ろう」としてください。これまでの学習で、足りなかったところ、わからなかったところ、知ろうとしなかったところ。また、学校では学べないこと、体験できないことにも挑戦して欲しいと思います。

安全で有意義な夏休みを過ごして、２学期の始業式に、みなさんから「知ろう」とした成果をたくさん聞かせてもらえるのを楽しみにしておきたいと思います。